

「天が開かれた」

(ルカによる福音書 3:15-16、21-22)

なぜ、罪なき主イエスが洗礼を受けたのでしょうか。それは、わたしたちとご自分が一緒になるためです。民衆はメシアを待ち望んでいました。ヨハネのもとに押し寄せる人々の光景を想像すると、その切実さが伝わってきます。どうしたって神から離れてしまう、罪から離れられず、苦しみつつも、しかし何とかして神とともにある命を生きたい、救われたいと願う人々。これはわたしたちの姿でもあります。主イエスはご自分も洗礼を受けることで、この人間たちと、わたしたちと同じになりました。

この救い主の歩む先は十字架です。その歩みの始まりこそ、この洗礼でした。神は洗礼によって主イエスに霊を降し、これから徹底的に神に従って歩むご自分の独り子、主イエスの十字架への歩みを支えます。受洗後すぐに祈る主イエスに、天が開け聖霊が鳩のように降りました。主イエスの受洗とともに、神の介入が開始されたのです。主イエスは洗礼を受け、今、神の霊とともに歩み始めます。さらに、神は声で語りかけます。

「あなたはわたしの愛する子。わたしの心にかなう者。」

神は限りない愛と祝福によって、主イエスを励まし、勇気づけました。主イエスはこうして、神からの霊と励ましを受け、神の救いを待ち望む人々のところへと遣わされていきます。

天が裂けるとは、絶たれていた神との関係が修復され、天と地との間に対話が始まったことを表します。主イエスは洗礼により霊を受け、限りない神の愛に包まれて、神と人との間に立たれ、神と人とを結ぶために、十字架への道を歩み始めます。この十字架によってもたらされる罪の赦しとは、神から離れていた命が再び神に結ばれることです。主イエスの洗礼によって天が開かれ、主イエスの十字架上の執り成しによって、わたしたちは神に結ばれます。これにより、わたしたちも主イエスに降ったのと同じ神の霊と祝福に満たされた命を生きることができるのです。神に結ばれ、霊とともにある命。これこそ、父と子と聖霊の御名によって洗礼を授けられたわたしたちの命です。主イエスによってもたらされたこの命をわたしたちはいただいています。